

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」による
平成22年度大学院生募集要項

博士前期課程

試験日 平成21年9月12日(土)

沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科

組織的な大学院教育改革推進プログラムの概要

[プログラムの名称] 島嶼看護の高度実践指導者の育成
— 島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育 —

[プログラムの期間] 平成 20 年度～平成 22 年度

[プログラムの内容]

(1) 新規教育研究領域の設立

本プログラムは本学大学院、保健看護学研究科の 1 教育研究領域として開設する。保健看護学研究科保健看護学専攻の博士前期課程と博士後期課程におかれている先端保健看護分野に新たに「**島嶼保健看護**」の領域をおく。新領域において、島嶼の地域文化に根ざした看護を基盤として、島嶼地区一体となって問題解決に向けて協働する地域ケア連携、島嶼地区特有の救急・感染症予防対策、生活習慣病改善などの実践・教育・研究を行う。

(2) 島嶼保健看護領域における学生の受け入れ人数と受け入れ体制

博士前期課程 2 名、博士後期課程 1 名を受け入れる。修士課程の入学者は島嶼地区に勤務する看護職者とする。

さらに、入学後確実な学位取得につながるよう、また大学院入学への動機づけとなるよう島嶼地区からの科目履修生の受け入れを積極的に推進する。

(3) 島嶼保健看護領域における科目の新設

島嶼保健看護に関する高度実践者（博士前期課程：以下、M とする）と実践的教育研究指導者（博士後期課程：以下、D とする）を育成するための科目を新設する。島嶼保健看護特論 I (M) と II (D) ならびに同演習・実習 (M)、同課題研究 (M)、同特別研究 II (D) を開設するとともに、専門科目のコア科目に地域文化看護論 (M) を、また選択科目に、多職種地域連携論 (M)、国際島嶼看護論 (D) を新しく開設し履修させる。

(4) 国内外における島嶼保健看護の学習の場と教育方法

本プログラムは、宮古島をその人材育成の拠点とする。宮古島では多職種地域連携活動や多職種共同研究ならびに島嶼と大学の共同研究等が実際に行われており、これらの活動を通して現地指導を行う。また、台湾等太平洋の島々ならびにハワイ・カウアイ島において地域文化保健看護に関する課題、ならびに多職種連携・協働に関する現状について調査し、また現地看護職者との交流会や研修会などを通しての学習を含むよう計画する。

講義及び演習は宮古島において開講し、テレビ会議システムや本大学の遠隔講義システム (FCS) を使って本学の受講者にも受講させる。

課題研究 (M)・特別研究 II (D) は、教員が宮古島に向いて現地での共同研究活動に関わりながら指導することを原則とする。また、修士の院生においては TA に相当する教育活動を体験させる。博士課程の学生には TA ならびに RA を体験させ、将来の実践的教育研究指導者としての能力を付与することとする。

保健看護学研究科のアドミッション・ポリシー

高い見識と専門的知識・技術・態度で高度な保健看護を立案、実施、評価できる看護実践者、行政・経営・管理面における看護専門職者及び教育者、研究者の果たす役割は近年増大しています。

本研究科は、グローバル化時代と少子・高齢化社会、高度に専門・分化した保健医療福祉サービス体制の中で、社会の要請に対応できる専門職業人のリーダーの養成を目指しています。高度な保健看護を実践できる実践家、特に沖縄県の特殊性を踏まえ、離島・過疎地医療、救急医療、生涯にわたる健康教育や健康管理に有用性を発揮しつつある通信・遠隔情報システムに対応できる知識と技術を備えた実践家（遠隔看護）、看護管理者、学習や教育の原理を統合して看護教育に応用できる教育者、研究活動により新しい看護知識の創出に貢献できる研究者、保健看護活動と新しい学問の創出に貢献できる人材の養成を目指しています。なお、本学では有職者にも就学しやすい教育の場を提供するため、大学院設置基準第14条特例により、夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができるようになっています。

博士前期課程では、広い視野に立って保健看護の立場から高度なケアの実践や教育のできる専門的能力を養う、または学識を深めることによって研究能力を養うことを目標とします。

博士後期課程では、看護分野における研究者として自立した研究活動を行うのに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とします。

博士前期課程では、次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 中級看護実践家、看護教育者として社会に貢献しようという意欲を持った方
2. 高い基礎学力と豊かな専門分野の基礎知識を持ち、自ら未知の問題解決のために立ち向かおうとする意欲を持った方
3. 基礎教育における既存の専門分野にとらわれることなく、人々の健康上のニーズに応じて看護の発展に貢献したいという意欲を持った方
4. 異なる文化を理解し、人々とのコミュニケーションを図ろうとする意欲を持った方
5. 大学院設置基準第14条適用学生として就学を希望する場合は、仕事とのバランスを保って学業の課題を遂行できる方

保健看護学研究科 博士前期課程

1 募集人員及び分野・領域・専門科目

分野	領域	専門科目	募集人員
文化間保健看護	保健看護管理	保健看護管理、保健看護教育	6名
	地域保健看護	地域保健看護、精神保健看護 実践精神看護	
生涯発達保健看護	母子保健看護	母子保健看護	
	成人・老年保健看護	成人・老年保健看護、実践慢性看護 実践老年看護	
先端保健看護	新領域保健看護	新領域保健看護、実践がん看護	
	島嶼保健看護※	島嶼保健看護※	

※専門科目（島嶼保健看護）は、「組織的な大学院教育改革推進プログラム」として、文部科学省に平成20年9月に採択されたプログラムにより開設した科目です。

2 出願資格

次の各号(1)～(6)のいずれかに該当し、さらに(7)に該当する者

- (1) 看護系大学（短期大学を除く）を卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 看護系以外の大学（短期大学を除く）を卒業し、看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を有する者
- (3) 看護系の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者（※）
- (4) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (7) 看護職者として現在勤務している者

※(3)により出願しようとする場合は、出願資格審査申請書に申請理由書及び最終学校の卒業証明書と成績証明書（厳封）を添えて提出し、事前に出願資格認定の審査を受けなければならない。

出願資格審査申請書等提出期限：平成21年8月7日（金）【必着】
出願資格審査結果の通知：平成21年8月12日（水）【郵送】

3 出願手続

(1) 出願期間

ア 期 間 : 平成 21 年 8 月 14 日 (金) ~ 8 月 28 日 (金) 【必着】

イ 出 願 先 : 沖縄県立看護大学 事務局 学務課 入試担当

(2) 出願方法

ア 出願者は、平成 21 年 8 月 7 日 (金) までに必ず「教育研究分野・領域の概要 (博士前期課程)」参照のうえ、担当教員に今後の研究・教育について相談して下さい。なお、その際は必ず学務課入試担当を通して連絡を取って下さい。

電話 098-833-8800 (学務課 入試担当)

イ 出願者は、出願書類等を一括して本学所定の出願用封筒に入れ、「直接持参」又は「書留速達郵便」により提出して下さい。

ウ 直接窓口を持参する場合は、上記出願期間中の土日祝祭日を除く平日の午前 9 時から午後 5 時まで受付けます。

(3) 出願書類

A	入学志願票・受験票 (本学所定用紙)
B	学士課程成績証明書 (最終出身大学長が作成、厳封したもの)
C	学士課程修了 (見込) 証明書
D	志願理由書 (所定様式)
E	履歴書 (本学所定用紙)
F	受験票送付用封筒 (※宛名を明記し 350 円切手貼付)・連絡用宛名票
G	入学考査料 30,000 円 (※郵便為替を同封)

※出願資格の証明書と「入学志願票・受験票」の氏名が不一致の場合は、改氏名を証明するもの (戸籍抄本等) を添付すること。

※出願資格 (3) の者は B、C は不要。

4 試験日時

日 時	平成 21 年 9 月 12 日 (土) 9 時 30 分から 【予備日】平成 21 年 9 月 26 日 (土) 9 時 30 分から
試験会場	沖縄県立看護大学内

※台風等による不測の事態により試験を延期する場合は予備日に実施する。なお、その場合は、合格発表及び入学手続き等の期日はそれぞれ 2 週間後に設定するものとし、後日通知する。

5 試験科目及び配点

期 日	試験科目	時 間	配点	試験会場
9 月 12 日 (土)	英 語	9 : 30 ~ 10 : 30 (60 分)	100	沖縄県立看護大学内
	共 通 科 目	11 : 00 ~ 12 : 30 (90 分)	100	
	専 門 科 目		100	
	面 接	13 : 30 ~	100	

※英語 (辞書 1 冊持ち込み可、電子辞書不可)

6 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は学力試験、面接及び出願書類を総合的に判定して行う。

7 合格発表

- (1) 平成 21 年 9 月 18 日（金）14 時から本学構内及びホームページにて掲示する。（可否は本人宛書面通知）
注）電話等による問い合わせには一切応じない。

8 入学手続

- (1) 入学手続期間：9 月 24 日（木）～ 10 月 16 日（金）【必着】
- (2) 合格者は、上記の入学手続期間内に合格通知書とともに送付する入学手続に必要な書類を提出しなければならない。
- (3) 大学院設置基準第 14 条の適用を受け入学する有職者は、所属長の承諾書を提出しなければならない。
- (4) 長期にわたる教育課程の履修（長期履修）を希望する者は、別途、長期履修申請の手続きを行うこと。（別紙参照）

9 入学金・授業料

- (1) 入学金 県内居住者 282,000 円 その他の者 512,000 円
- (2) 授業料 年額 535,800 円（長期履修学生については、年額 357,200 円）

※県内居住者とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

ア 本人が平成 21 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

イ 本人の配偶者又は 1 親等の親族が平成 21 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

- (3) 入学金については入学手続期間内に納入しなければならない。なお、授業料については入学後、前期（4 月）、後期（10 月）に分けて徴収します。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

10 注意事項

- (1) 一度提出した書類並びに入学考査料は返却しない。
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがある。
- (3) 出願に関する問い合わせ先：沖縄県立看護大学 事務局 学務課 入試担当

〒 902-0076 沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号

TEL：098-833-8800

FAX：098-833-5133

(別紙)

○沖縄県立看護大学大学院長期履修規程

(平成21年2月18日研究科委員会決定)

(趣旨)

第1条 この規程は、沖縄県立看護大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第29条の2の規定に基づき、沖縄県立看護大学大学院博士前期課程（以下「博士前期課程」という。）における長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関し、必要な事項を定める。

(対象者)

第2条 長期履修を希望することができる者は、本学大学院第1年次に入学する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 職業を有している者
- (2) 育児、親族の介護等の特別の事情のある者
- (3) その他やむを得ない事情を有し、修業年限で修了することが困難な者

(申請手続)

第3条 長期履修を希望する者は、次に掲げる書類を添えて、入学手続期間内に学長に願出するものとする。

- (1) 長期履修申請書（様式第1号）
- (2) 在職証明書（職業を有している人）（様式第2号）
- (3) 長期履修申立書（特別の事情のある人）（様式第3号）

(承認)

第4条 長期履修の承認は、研究科委員会の議を経て学長が行う。

2 学長は、前項の規定により長期履修を承認したときは、長期履修承認書（様式第4号）により長期履修を承認された者（以下「長期履修学生」という。）に通知するものとする。

(長期履修期間)

第5条 長期履修の期間は、3年とする。

(履修期間短縮)

第6条 長期履修学生が長期履修期間の短縮を希望する場合は、短縮された場合に修了を予定する年度の前年度の2月1日から2月末日までの間に、学長に長期履修期間短縮申請書（様式第5号）を提出する。

2 長期履修期間の短縮期間は、年を単位とする。

3 長期履修期間の短縮の承認は、研究科委員会の議を経て、申請のあった年度内に学長が行う。

4 学長は、前項の規定により長期履修期間の短縮を承認したときは、長期履修期間短縮承認書（様式第6号）により長期履修期間の短縮を承認された者に通知するものとする。

(履修)

第7条 長期履修学生は、履修計画及び研究計画に従い、計画的な履修を行わなければならない。

(授業料)

第8条 長期履修学生の授業料の年額は、別に定めるところによる。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 この規程の施行後最初に大学院博士前期課程に入学する者が長期履修を希望する場合の申請手続は、第3条の規定にかかわらず4月1日以後に行うものとする。

島嶼保健看護（博士前期課程）の概要

教育科目（島嶼保健看護）の構成－博士前期課程

科 目 名 (単位)		
分野 必修	先端 保健看護 島嶼 保健看護	島嶼保健看護特論Ⅰ（２） 島嶼保健看護演習（２） 島嶼保健看護実習（６） 島嶼保健看護課題研究（４）
必修	コア科目	継続保健看護教育Ⅰ（２） 保健看護と研究Ⅰ（２） 地域文化看護論（２）
選択 科目		生涯人間発達学（２） 生体機能とリスク（２） 疫学と保健統計Ⅰ（２） ヘルスプロモーション・健康教育Ⅰ（２） 保健看護情報（２） 保健看護政策（２） 看護倫理（２） 看護コンサルテーション論（２） 看護管理（２） 多職種地域連携論（２）

修了要件：博士前期課程を修了するために修得すべき単位数は(30)以上

[内訳：コア科目(6)、分野必修科目(14)、選択科目(10:多職種地域連携論を含む)]

教育研究分野・領域の概要（博士前期課程）

分野	領域	概 要
先端 保健 看護	島 嶼 保 健 看 護	<p>島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療福祉専門職者が少ない島嶼地区において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い多職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実現できる高度な島嶼看護専門能力を育成することを目指す。</p> <p>■担当教員／野口美和子、神里みどり、嘉手苺英子、池田明子、當山富士子、前田和子、玉城清子、大湾明美、石川りみ子</p>

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」による
平成22年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程入学志願票

フリガナ				男	※	
氏名				・	受験番号	院
生年月日	昭和	年	月	日生	女	
研究科	専攻		志願領域(専門科目)			
保健看護学研究科	保健看護学専攻		島嶼保健看護 (島嶼保健看護)			
(注) 出願資格	昭和	年	月	日	卒業・卒業見込	
	平成	年	月	日	認定修了・認定修了見込	
	大学			学部		学科
	学位授与機構			学士		
免許取得 年 月 (免許番号)	看護師 年 月 ()		保健師 年 月 ()		助産師 年 月 ()	
本籍地 (都道府県名・外国人出願者は国籍を記入)						
本人	フリガナ	〒				
	現住所	[電話 () - ()]				
	フリガナ	〒				
連絡先 (現住所と違う 場合のみ記入)	[電話 () - ()]					
※						

写真貼付	※
(縦4cm×横3cm) 受験票に貼り付け た写真と同じもの	入学審査料 領収印

(注) 出願資格(3)により出願資格審査を受けた者は「出願資格」の欄は記入不要

(切り離さないこと)

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」による
平成22年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程受験票

フリガナ				男	※	
氏名				・	受験番号	院
専攻	保健看護学専攻	志望領域 (専門科目)	島嶼保健看護 (島嶼保健看護)			
写真貼付 (縦4cm×横3cm) 志願票に貼り付け た写真と同じもの						
※ 入学審査料 領収印						

(注) ※欄は記入しないでください。

1. 試験期日及び時間

月 日	科目名	時間
平成21年9月12日(土)	英語	9:30～10:30
	共通科目	11:00～12:30
	専門科目	
	面接	13:30～

2. 合格発表

平成21年9月18日(金) 14:00～

3. 注意事項

- (1) 試験当日はこの「受験票」を必ず持参すること。
- (2) 9月12日(土)は、9:00までに試験会場に集合すること。8:30から9:00までに受付を終了すること。
- (3) 面接の集合時間は、試験当日(9月12日)に指示する。

試験会場

沖縄県那覇市与儀1-24-1

TEL:098-833-8800(入試担当)

交通案内

1. タクシー利用(那覇空港～本学)所要時間約30分、料金約1,200円

2. モノレールとバスの利用

モノレール(那覇空港～旭橋駅)

那覇空港より沖縄都市モノレール(ゆいレール)で旭橋駅下車、那覇バスターミナルまで徒歩3分。

モノレール所要時間11分(10分間隔)、料金230円

バス(那覇バスターミナル～本学)

①33, 34, 37, 38, 39, 41, 46, 50, 51, 53, 54, 83, 89番に乗車、与儀十字路下車、徒歩5分。バス所要時間約13分(5～10分間隔)、料金220円

②35, 40, 100, 109番に乗車、県立看護大学前下車。

バス所要時間約15分(15～20分間隔)、料金220円

志 願 理 由 書

フリガナ	
氏 名	

※ 院

(30字×27行)

--

(注) 810字以内で記入すること(ワープロ可)

※印欄は記入しないでください。

フリガナ	
氏名	

※院

履 歴 書		
学 歴 (高等学校以上)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実務経験 職歴、研究生等の研究歴を含む	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

注1) 黒のボールペンで丁寧に記入すること。

注2) ※印欄は記入しないでください。

〔出願資格審査希望者用〕
提出期限：平成21年 8月 7日

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」による
平成22年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程の出願資格審査申請書

(フリガナ)		男 ・ 女	※整理番号					
氏 名			※認定の可否		※認定番号			
生年月日		昭和	年	月	日			
					本籍(国籍)			
					都道府県			
履 歴 事 項 (高 等 学 校 以 降)	学 歴	年	月	～	年	月	高等学校	
		年	月	～	年	月		
		年	月	～	年	月		
		年	月	～	年	月		
		年	月	～	年	月		
	実 務 経 験 (職 歴、 研 究 生 等 の 研 究 歴 を 含 む)	期	間		勤 務 先 ・ 所 属		具体的な職名とその勤務内容	
		年	月					
		年	月					
		年	月					
		年	月					
年		月						
免 許 ・ 資 格 等							(免許番号)	
							(免許番号)	
							(免許番号)	
							(免許番号)	
							(免許番号)	
							(免許番号)	
							(免許番号)	
連絡先		〒 -						
住 所								
電 話		電話() -						

- (注) 1. 性別は該当する事項を○で囲むこと。
 2. ※欄は記入しないこと。
 3. 履歴事項欄が不足する場合、別紙として添付すること。
 4. 入学者選抜試験の結果、合格者となった場合は、本申請書の実務経験欄に記載した経歴について、所属長の証明書を求めることもあるので、記載に当たっては正確を期すこと。
 記載内容が証明書と相違する場合は、合格を取り消すことがある。
 5. 出願資格審査申請理由書および最終学校の卒業証明書と成績証明書を添えて提出して下さい。

〔出願資格審査希望者用〕
提出期限：平成21年 8月 7日

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」による
平成22年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士前期課程の出願資格審査申請理由書

(フリガナ) 氏 名		男・女	※整 理 番 号	
			生 年 月 日	
<p>I 申請理由</p> <p>II これまでの実践活動の中で、力を入れてきたことは何ですか、簡潔に記述して下さい。</p> <p>III 学会・研究会等で発表した場合、学会名・演題名を記述して下さい。</p> <p>IV 本学で実施している「学び直しプログラム」に参加しましたか。（はい・いいえ） 「はい」の方へ：プログラムへ参加しどのようなことを学習しましたか。</p>				

(注) ※欄は記入しないこと。